



長い夏休みもあっという間に終わり、2学期がスタートしました。子どもの姿が学校に戻り、活気に満ちているのではないのでしょうか。聴覚相談センターでは夏休み恒例の『聴覚障害教育研修』を開催し、50人を超える先生方に御参加いただきました。今回は定員に達した時点で申込フォームを閉じましたが、追加の問合せも多く頂き、改めて聴覚障害教育に対するニーズの高まりを感じました。

今回の聴覚相談センターだよりでは「東京2025デフリンピック」に関する情報を掲載いたします。

11月15日から26日まで、東京で第23回夏季デフリンピックが開催されます。この大会は、聴覚に障害のあるアスリートのための国際総合スポーツ競技大会であり、4年に一度、開催されます。デフリンピックは、「サイレント・オリンピック」とも呼ばれ、手話や視覚的合図でコミュニケーションを取りながら競技が行われるのが大きな特徴です。競技中には音響合図（スタートのピストル音など）は使用されず、光や旗などの視覚的な合図が用いられます。これは、聴覚障害のある選手たちが公平に競技できるよう配慮したものです。

2025年の東京デフリンピックは、「Diversity & Inclusion（多様性と包摂）」をテーマに掲げ、すべての人が互いを尊重し、支え合う社会の実現を目指します。大会を通じて、聴覚障害に対する理解を深め、誰もが安心して参加できる社会の実現に向けたメッセージを発信します。

鹿児島聾学校では、全国を巡回してデフリンピックのPRに努めているキャラバンカーを6月に迎え入れました。また、機運を高めるために玄関でデフリンピックを紹介するポスター展示を実施中です。さらに大会直前の10月にはデフリンピック選手（デフバレーボール）で本県出身の尾塚 愛実さん（阿久根市出身）をお招きしてスポーツ教室も実施予定です。他にも本県関係者には、サッカーで中尾 悠人さん（始良市出身）や福岡県出身の松元 卓巳さんは、鹿児島実業高校在籍時にデフサッカーに出会い、日本代表に選ばれるようになり、今回の東京大会では日本選手団の旗手を務めるなど、活躍が期待されています。

この大会では、世界各国から数千人のデフアスリートが参加し、様々な競技で熱い戦いを繰り広げます。2025年東京デフリンピックは、感動と勇気を与え、社会のあり方を問い直す重要な機会となるでしょう。言葉を越えた感動と熱気を体感してほしいものです。また、将来、聾学校を含め、県内の学校に通う聴覚障害児が今後のデフリンピックで活躍する未来も楽しみにしています。

就学・教育相談に関連して

来年度に向けて就学・教育相談が本格的に進んでいます。県内の各市町村でも就学相談会や審議会等が行われる時期かと思えます。どこを学びの場として選択するかで学習の形態や支援内容が異なってきます。

子どもの状態を多面的に捉え、適切な学びの場を選択する必要があります。

聴覚障害児に対し、適切な就学や進路選択が行われるように聴覚相談センターとしては以下のようなサポートが可能です。ぜひ、御相談ください。

- ・就学先に関する相談
- ・学習に関する困りごとへの相談
- ・聴覚障害教育に関する情報提供
- ・受験における合理的配慮等に関する相談
- ・進学先との移行支援会議への参加
- ・本校の随時体験 など

鹿児島県立鹿児島聾学校

代表 TEL 099-228-2200 FAX 099-228-2211

聴覚相談センター（外園）

【直通】TEL 099-228-2300 FAX 099-228-2311

お気軽に御相談ください(^_-)-☆

★ 相談は無料です。

★ 相談内容に関する秘密は厳守します。

★ 全ての支援事業は聾学校への就学を勧めるものではありません。